

東京都支部

令和3年3月31日限の東京都支部総会は新型コロナウイルス騒動により開催不可となった。東京都支部では事業報告・決算報告ならびに事業計画案・予算案・支部役員改選案を役員会で承認し、支部総会中止を会員にハガキで周知徹底させた上で、詳細は7月1日発行の『大江戸通信』第94号で報告した。異議・疑問等は1か月間受け付け、終了後自然承認された。また関東ブロック総会も、コロナ騒動が終息するまで延期することとした。

(文責:金子 栄輔)

神奈川県支部

令和2年度

令和2年度第1回神奈川県支部総会が開催されました。開催日は、令和2年11月15日(日)。場所は、新百合ヶ丘「自然食バイキング・ハーベスト」でした。去る4月1日に支部発足の産声をあげて会員7名が会則等に賛同して立上げたもので、参加したのは当初6名でしたが、特に鈴木校友会長もご多忙にも拘わらず、神奈川県支部の顧問として参加いただきました。

コロナ禍の影響を受け、支部の展開には足枷と波乱万丈と懸念を思わせる幕上げではありましたが、総会では、鈴木会長(顧問)が支部発足を共に喜び、今後の支部



伴ったものの、1年の歳月を経て益々の逞しい成長がみられる。総会開始前に資料を配布し、内容を各自確認後、質疑応答の形で協議が行われた。資料の内容は、令和2年度行事報告、収支決算書、令和3年度行事計画、収支予算書等となる。

黒澤支部長から会報97号発送完了報告、会計の千葉さんからは神奈川県支部の口座に助成金が入金されたことと会員の会費が入金されたこと等、会計報告がありました。意見交換では、支部会員の充実(女性会員の充実・会員数・方針手段等)が主な内容で、今後の総会開催地についても候補地選定等、意見が交わされました。

懇親会では、黒澤支部長の乾杯で始まり、一変して盛大盛況で和やかであり、話題は尽きませんでしたが、最後は惜しまれながらの散会となり、会員の皆様との再会を誓い合いました。

(文責:黒澤 大治)

神奈川県支部

令和3年度

令和3年度神奈川県支部総会(第2回)が開催された。

令和3年6月26日(土)に新百合ヶ丘エルミロード「しゃぶしゃぶ馬屋」にて開催される。昨年4月1日の支部発足は、コロナ禍の足枷を

富山県支部

令和2年度の富山県支部総会は、新型コロナウイルスのため中止せざるを得なくなった。会員が高齢化しているため、対策が取られていたとしても不安なためである。会員には以下のものを送り、了解を得た。

- 1 富山県支部総会中止のお知らせ
- 2 最近の富山県支部活動報告
- 3 会計報告
- 4 貯金通帳の写し
- 5 日本大学通信教育部校友会第49回定期総会議案

返信ハガキには、新型コロナウイルスにより総会の中止はやむなきこと、送付された資料すべてに目を通して了解したこと、コロナ禍の終息後の再会を楽しみにしていること等々のコメントが記されていた。

(文責:古岡 一治)

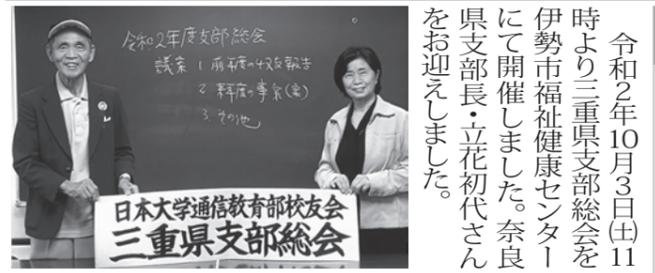
静岡県支部

令和2年6月13日(土)17時から第1回幹事会、ならびに8月22日(土)17時から第2回幹事会を、静岡市「庄や静岡南口店」で開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症をめぐり状況に鑑み、ともに中止とした。

第2回幹事会において、左記の各議案につき、議事資料の送付により可否を問う方法で承認をいただいた。議案として、①令和元年度事業報告②令和元年度収支報告③令和2年度事業計画④令和2年度静岡県支部総会⑤静岡県支部役員推薦の5項目を提案し、その結果、議事資料送付22件のうち、回答数16件、未回答数6件で、諾16件、否0件であった。

また、令和2年10月3日(土)15時30分から静岡市葵区の静岡労働会館第

三重県支部



令和2年10月3日(土)11時より三重県支部総会を伊勢市福祉健康センターにて開催しました。奈良県支部長・立花初代さんをお迎えしました。

奈良県支部

議案は、事業報告・会計報告、来年度の事業計画案・予算案が提示され、全ての議案が可決・承認されました。

令和2年度の奈良県支部総会は11月22日(日)高取町の茶寮「花大和」で開催しました。

三重県支部長の長形弘様を来賓としてお招きし、奈良県支部から3名、合計4名で、議題の「本部組織部活動報告」の検討依頼事項を話し合い、コロナ禍に疲れた胃を薬膳料理で癒しました。

島根県支部役員会

コロナ禍のため島根県支部は総会を中止し、その代わりとして役員会を開催して令和2年度を総括しました。

山口県支部

令和2年12月5日(土)山口市「山口県婦人教育文化会館」において、14時30分より開催しました。

令和2年12月5日(土)山口市「山口県婦人教育文化会館」において、14時30分より開催しました。

総会開始前にマスク、手洗い・三密を確認し、会に入りまし。

島根県支部役員会

令和2年卒業生1名入会を勧めたが拒否。計報 かつて校友会を支えていただいた先輩方、しかも高齢のご逝去が相次いだ。一方では新規入会者も皆無の状況。この校友会と同じく、現実を如実と表すとともに、前途は暗雲に閉ざされている。

山口県支部

総会後、静かにお茶により懇談を短時間実施して、早々に次回(令和3年12月第1土曜日)の再会を約し、16時30分に散会しました。



日本大学通信教育部校友会山口県支部総会